

第 10 回 総会報告

2009年11月15日に記念すべき第10回総会が横浜で開催され、北海道・東北・関東・関西・中四国・九州と様々なところから100名もの会員が集まりました。それぞれが「やー、久しぶり」と和やかな雰囲気と元気な顔があちこちに見られました。

品川先生による基調講演『協会ミッションをめぐって』に続き、千葉県にある成東病院の篠原医師と品川先生の対談『緩和ケアにおける行動形成法の導入とその展望』がありました。篠原先生の「外科医としては自信があるが緩和ケアはわからないことだらけ。自分は通りすがりの人の良いおせっかいなおじさんをやっているんです。」という言葉がとても印象的でした。地元こだわり地元で生きる、こんな先生が近くにいたら自分の最後の看取りをしてほしい、と参加した多くの人を感じたと思います。10周年の記念にふさわしい心温まる対談になりました。総会では審議事項や会員の人たちからの事例報告など、内容が濃く一人一人の力の大きさと先生の熱意を感じさせられ、これからの協会の力強さを感じました。

10回と言えば参加者の中で10年以上会員として在籍している人たちが30名ほどいました。総会前日の祝賀会では関東エリアのOさん手作りの記念品が贈呈され、うらやましい限りでした。

100人を前に司会をさせて頂き、皆様の笑顔が見られたこと、司会が困らないようにと関東エリアの役員たちによる気配り、私は心地よい緊張感と、人のぬくもりを味わいながら充実した時間を過ごすことができました。多くの方から「総会に来てよかった」という声が聞こえ、司会という役割を通し少しそのお手伝いできたのかなと思っています。

これからもケア・カウンセリング協会が発展していくことを祈願します。

関東エリア 新理事 宮本ひろ子



熱気あふれる会場



対談



特別報告



事例発表



功労賞表彰



祝賀会



10年以上在籍の会員の皆さん



手作りの記念品